

救急体制の充実 「ふれあいの居場づくり」支援を

市民病院では2012（平成24）年度から救急科を設置し、平日昼間の救急体制について充実を努めてきたといわれています。

なぜ減少？ 救急車受け入れ

一方、夜間・休日については、「本当に救急対応が必要な人を受け入れられる様にするため」といって、2016（平成28）年度から軽度者から保険外併用療養費3240円の徴収を始めた。

休日・夜間の外来患者数は確かに減りました。しかし、なぜか重度者の多い救急車の受け入れ

手薄な休日・夜間体制

夜間に脳外科等の対応が必要な場合、専門医が電話で相談にのじたり、出勤したりする場面もあるそうです。しかし、常時対応の態勢はありません。

伊勢崎佐波地域の時間外の小児診療も体制が弱く、平日夜間の専門医の常駐は医師会病院で午後8時～11時のみです。内科医や小児科医がいない場合は救急車の搬送を断られ、市外に行くことも多いのが実情です。

医師確保策進めてこそ

党議員団はこれまでも、市独自の奨学金制度を作り医師確保につなげる方策などを提案してきました。いっそうのとりくみを求めていきます。

充実期待される市民病院



ふれあいの居場所に 運営費補助を

市は、高齢者が気軽に出かけられる「ふれあいの居場づくり」を地域住民が主体となって進めてもらいたいと、昨年からの説明会を開いてきました。

今年度は会場整備の補助金を予算化しましたが、町の会議所などを使うケースばかりで不要でした。「むしろ、経費を補助して…」という要望が寄せられているのに、いまだに検討中とのこと。現場の要望に耳を傾け、市民が活動しやすい環境づくりを進めるよう求めました。

本町商店街の夜

本町商店街に風俗店の進出が問題になってから随分経ちました。本町通りは夜、辻々に客引きが立って声を掛けるので、とても一人では歩けない状態です。何年もこのような状況が変わらないのは、行政が街づくりに対して、無力だということでしょうか？

高い固定資産税を払うため、引き合いのある風俗店にやむなく貸し出す人もいます。空き店舗に対する対策、安心安全なまちづくりへの考えを質問しました。

防犯カメラの設置や合同のパトロールの実施を今後も継続していく。空き店舗数は西町通りもふくめ33店あり、今後も商工会議所や商店会と連携して取り組んでいくといっています。また客引き防止条例については他市の状況を見て検討するとの答弁でした。

安心安全なまちづくりをマニフェストの大きな柱にあげている五十嵐市長ですが、答弁からは特別の対応もないようです。成り行き任せではなく、固定資産税の減免や、風俗店でない空き店舗進出に対する支援、店舗リニューアル助成制度の新設、風俗店対策など、本格的な対策に手を尽くしてこそ、安心安全な街づくりにつながるのではないのでしょうか。

党議員団 新日本婦人の会

自衛隊での職場体験中止を

昨年、市内の中学校2校が職場体験学習先に自衛隊を選んでいました。

自衛隊が中学生を受け入れるのは、明らかに隊員獲得のための「広報活動」の一環です。安保法制施行で海外派遣が行われ、自衛隊を志願する人が減り、いっそうこの動きは強まっています。

日本共産党市議団と新日本婦人の会伊勢崎支部・境支部は、二中・境西中をそれぞれ訪問。自衛隊での職場体験を行わないよう、要請と懇談を行いました。

どちらの学校でも「今年度は職場体験先に自衛隊を希望する生徒がおらず、予定していない」と、説明がありました。

手話言語条例

伊勢崎市議会は会派を超えて聴覚障害者や手話通訳者の団体とともに検討を重ね、議員提案により「伊勢崎市手話言語条例」を可決しました。

条例は、手話を言語として認め、手話の普及で聴覚障害者とそれ以外の住民が互いを尊重し共生することを目的としています。手話を学ぶ機会の確保や、手話通訳者の配置・派遣を行政の仕事に位置づけます。

新学校給食センター建設に合わせ改善を！

■おいしい市内産野菜を

あずまの給食センターでは、献立の市内産野菜の欄に生産者の名前が書かれ市内産野菜の利用は一番です。他のセンターは最大生産者団体JAも単なる一納入業者扱いで、連携が取れていません。生産者と「こういう食材がほしい、この野菜ならば旬の野菜が提供できる」という関係を作ることが必要です。

西小保方の新給食センター予定地



■米飯給食拡大

米飯給食は、味覚を育む子どもたちに、米を中心とした「日本型食生活」の普及定着を図るうえで大切です。県内自治体ではすでに週3回以上が多数派になっています。伊勢崎市は週2・5回から変わりません。新センター建設で米飯給食の回数を増やすことが可能なのに、「これから検討」というのんびりしたこたえです。

■公立幼稚園給食

赤堀・あずまの公立幼稚園は、合併前から学校給食が提供されています。新センターの建設により、全園で給食提供が可能になります。これも「これから検討」。

どれもこれから検討では、新センター建設を生かす対応ではありません。